

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	経済学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

1. 学部・大学院5年一貫のカリキュラム体系を設置し、教育の質を高め、早期卒業制度を利用し、学士号と修士号の授与者数を現在の1名から5年後に5名へ増やす。
2. ジョイント・ディグリー制度を活用し、他学部から優秀な学生を入学させ、2つの学士号の授与者数を現在の1名から5年後に5名へ増やす。
3. 現行の8コース制を5コース制へ再編成し、各コースごとに学部・大学院合併科目（中級・上級科目）を新設する。そして、上位科目の履修者を増やし、KG経済学士力を向上させる。
4. HPを利用して、新しい5つのコース制や学部・大学院一貫制に基づく新カリキュラム体系を公表し、社会にKG経済学士力の内容を周知させる。

○指標

1. 学士号と修士号の授与者数。
2. ジョイントディグリー制度を利用して他学部から経済学部へ入学してくる学生数とその学生のGPA。および、学士号の授与者数。
3. 学部・大学院合併科目（中級・上級科目）の履修者数とその平均点。
4. HPの作成・更新とアクセス数。